

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU

# NETWORK NASU

CHARTERED 1995



那須ワイズメンズク

2020~2021年度 No.261

## 9 月報

那須クラブ会長 主題

地域につなげ那須ワイズ III



強調月間：EMC

### 今月の聖句

神よ、あなたは慈しみ深く、真実な方。怒るに遅く、すべてを治める憐み深い方。

知恵の書 (旧約聖書続編) 15 : 1

### 9月第1例会 (墓沼用水探訪)

日時：9月18日 (土) 午前9時30分~

非常事態宣言発出中のため中止、10月に延期

2021~2022年度 主題

国際会長：(IP) サム・サンテエ (韓国)

「世界とともにワイズメン」

アジア太平洋地域会長：(AP) 大野 勉 (神戸ポート)

「100年を超えて変革しよう」

東日本区理事：(RD) 大久保 知宏 (宇都宮)

「私たちは次の世代のために何ができるのか？」

北東部長：南澤 一右 (仙台青葉城)

「変化を楽しみながら新生北東部を創ろう！」

### クラブ役員

会長：河野 順子

副会長：村田 榮・田村 修也

書記：藤生 強

会計：村田 榮・鈴木 保江

担当主事：平山 雄大

ブリテン：田村 修也・村田 榮

### 8月例会データ (出席率：83.3%)

在籍者 7名 (内 功労会員1名) 例会出席者 5名

ゲスト 1名

### 9月 Happy Birthday

9/10 原田 時近メン

### ・10月第2例会 (役員会)

日時：10月1日 (金) 午後4時30分から

場所：田村メン宅

### ・10月第1例会 (墓沼用水探訪)

日時：未定 9時30分から

内容：墓沼用水探索

場所：河野宅前に集合

## 巻 頭 言

副会長 村田 榮

### 「思いつくまま…」

インドでの突然変異によるコロナで多くの方々がなくなられるニュースを聞いた時、日本では、コロナウイルスの影響が少し落ち着いている時であったので、なんで日本からもっと援助の手が差し伸べられないのかと思った。その後、日本も変異ウイルスに置き換わり第5派の非常事態宣言が発出された。

小生たちが、歯ブラシ運動でお世話になっている、カンボジアやラオスの様子を知らせるニュースはなく、どうなっているのかを心配しています。

ミャンマーでは、軍によるクーデターが起こり、アウンサン・スーチーさんをはじめ多くの方々が拘束され、市民のデモ隊への軍による抑圧が行われている様子がニュースとして報道されているが、コロナのニュースはほとんどない。本当の様子が知りたいものです（アジア学院の荒川校長先生よりは、情報があります）。大変厳しい状況にあることが想像されます。アフガニスタンの状況も同じです。

8月に入り、オリンピック、パラオリンピックの報道が多くなり、第5派のコロナ禍の時に開催する必要があるのかどうかは分かれませんが、この大会に向けて頑張ってもらって選手の方々の努力は、言葉で表せないような努力があったと想像されます。活躍されている選手の姿を拝見し、頭が下がりました。頑張れと応援をしておりました。日本でなんて平和なんだろうと思います。

7月より発出された非常事態宣言の中でも、人の動きは変わりなく多く、商売をされている方々への締め付けだけが何となく突出しているように感じたのは、わたしのような老人だけでしょうか？

今年の夏は、昨年が続いて異常気象です。5月ごろから暑くなり、6月下旬より、雨が続き、7月に入ると熱海での土砂崩れ、日本各地での豪雨により災害・被害が多かったこと。朝ドラの「おかえりモネ」を見ながら、この異常気象を何とか食い止める必要があると思いました。私たち一人一人はできることをやらなければならないと思いました。子供たちや孫たちの生活が今よりも少しでも良くなるようにする努力が必要です。さしずめ脱酸素に協力することですかね。

長雨による影響は、個人的に考えてみても、畑の草が伸び、草取りや草刈もできないので、畑はどうしようもない状況になってしまいました。草の中に野菜があるようでした。日光不足と長雨の影響で、夏野菜は全滅に近いものでした。

With コロナになった時の生活の在り方を今から考えておくことが大切であると思います。

最後に、ワイズの活動が将来にわたって続けられるような会員獲得を考えていきたいと思っています。ワイズとYMCAを地域の方々に知ってもらうことが一番でしょうね。



8月例会塩谷キャンプ場視察 2021. 8. 21



## 8月第1(塩谷キャンプ場視察)例会

日時：8月21日(金)午前9時30分～

場所：塩谷キャンプ場

出席者：河野会長、田村副会長、村田副会長、藤生書記、平山担当主事、

ゲスト 張さん(河野会長の知人、入会希望)



8月例会は、YMCA塩谷キャンプ場の現地視察を行いました。

塩谷キ

ャンプ場の再開については、7月例会にて『鷹箸とちぎYMCA代表理事と話し合い、今はコロナ禍に注力するため簡単(劣化を進めない程度)な整備を行うことはあっても、今後の計画については一旦休止することになった』と河野会長から報告がありました。それを聞いての視察となりましたが、キャンプ場は7月末に草刈り整備をしており、昨年同様、キャンプ場に入るとフィールドの端まで見渡せ、すぐにもキャンプが出来るくらいの状態でした。(宇都宮東クラブの岡田ワイズのご尽力に感謝)

例会開始前にメンバーそれぞれがフィールドを散策し、視察を行っていました。例会は、メンバー1名が体調不良の中で参加していたこともあり、点鐘・ワイズソング・会長挨拶を行った後、現地視察を終了といたしました。

その後、塩谷キャンプ場開設(とちぎYMCA設立5周年事業)の中心メンバーである原田ワイズ宅を訪問し、視察報告を行い、例会は終了となりました。



キャンプ場再開は、物理的な修繕より、放射線物質の数値をどう捉えるかが

課題と思われます。放射線物質の数値に対する考えは千差万別であり、YMCAとしての着地点を見出すことが必要です。そのことから『再開するのか、しないのか』、そして再開するとしたら『何時、対象は、どんなプログラム』で行うのか、と進んでい

きます。

今はコロナ禍に注力するためその進みはありませんが、今回の例会がこれらに向かう“一歩”に繋がればと願っています。



## 9月第2例会(役員会)報告

日時：9月3日(金)午後4時30分～

場所：ZOOMにて

出席者：河野会長、田村副会長、村田副会長、平山担当主事

協議事項

### 1. 9月第1例会について

コロナの感染拡大を受けて、墓沼用水探索は中止。10月に延期する。日時については、10月第2例会時に決定する。

### 2. 10月第1例会について

アジア学院の収穫感謝祭に参加してのバザーは今年度中止されることになったので、墓沼用水散策を行う。

アジア学院に10,000円の献金を行う。

### 3. 10月役員会(第2例会)について

10月1日(金)午後4時30分から、田村ワイズ宅にて開催する。ZOOMでの参加も可能。

### 4. YMCA報告

コロナ感染拡大で夏のプログラムが中止となった。リーダーの経験不足が心配。9月から11月にかけて、リーダー研修会が開催される。

### 4. ワイズ報告

ロースターが送付されてきた。後日、訂正版が送られてくる。

### 5. シイタケ昆布の注文について

10月1日までに数を確定し注文をする。

### 6. その他

河野会長より、コロナの時期で、野外活動に対するニーズが高まっている時、CFを利用してでもキャンプ場の整備を行うことも可能ではとの提案があった。

## 張さんの自己紹介



私の名前は張 蔚麗（チョウ ウェリ）、台湾人です。アメリカで18年間の結婚生活をしました。（英語名前はWeili Materna ウェリ マターナ）。

私は2019年6月に日本へ再留学し、2021年3月に国際医療福祉大学の大学院理学療法修士課程を卒業しました。現在は大田原市の室井病院に看護職を勤めています。国際的なイベントに参加し、将来は国際性の看護管理と教育領域に貢献と発展が出来るようにと願っています。どうぞよろしくお願い致します。

## 旧西那須野（那須西原）の緑と水（第101回）

田村修也

那須開墾社の開拓事業が成業し解散となりました。今までの記載においては、印南文作さんの事績につきましては随時ふれて来ました。ここで印南さんと志を共にして、那須野が原開拓に献身した二代社長 矢板 武さんの事績を紹介しておきたいと思えます。

矢板 武さんの著作である「那須開墾誌」においては、緒言の中で「其後明治4年辛未年末宇都宮縣を置かれ、河内、芳賀、塩谷、那須の4郡は其管轄となり大小區の制をさだめられたる時武は第5大區6の小區副都長を被命那須郡佐久山宿印南文作は第6大區8の小區戸長を被命爾来兩人は公務の爲時々会合したり武は文作とは年齢大差あるも主義目的を同じふし互に相信じ会合の都度殖産興業の談を為さざることなし就中那須開拓談に至りて最も所感を同ふし機を見て共に開墾事業を超さんことを望みたり之れ即ち開墾発起の素因たり」としか書かれておりません。

そこで、手許にある「矢板市史」「下野新聞社版郷土の人々」「印南文作・矢板 武＝那須野が原開拓先駆者の生涯＝」のうち、もっとも詳細な「印南文作・矢板 武＝那須野が原開拓先駆者の生涯＝」を中心に矢板 武さんの生涯をご紹介します。

矢板 武さんは、嘉永2（1849）年11月14日塩谷郡矢板村の坂巻五右工門寿茂とけい子の長男として生まれました。幼名を七五郎と言いました。8才の時母は安政4年に25歳で世を去り、10歳の時父も安政6年に世を去りました。いずれも29才、25歳という若さでした。しかし、祖母美輿子、

伯父の黒田惣右工門のもとで養育を受けて成長しました。そして名を武兵衛と改め10歳の時に家督を相続しました。

武さんが生まれた頃の矢板村は、日光北街道と会津中街道が交差する「十字路」付近に、問屋業を中心に、腰掛茶屋など4・50軒の集落となっていました。※鎌倉時代は塩谷朝業の川崎城を中心に城下町が開け、今も川崎城付近はその時代の面影が残っています。朝業の事績は「吾妻鑑」に記されていますが、將軍実朝お気に入りの歌人で「うれしさも匂も袖に餘りけり我為おれる梅の初枝」の和歌を將軍実朝に贈っています。生来実朝は梅花を非常に愛していたとのことです。また朝業が病で歌の会に不出仕を聞いて、病氣見舞いの意を含めて、早咲きの紅梅一枝を折って「君ならで誰にか見せむわか宿の軒端に匂ふ梅の初枝」と記した短冊を朝業の屋敷に届けさせたと記載されています。実朝はこの後、甥の公暁に八幡宮の大イチョウの下で殺害されたことは知られています。この事件を受けて朝業は出家遁世しました。この川崎城は約400年後の義綱の時代1590年の頃に廃城になったとされています。

この地方はよほど早くから開墾されていて、焼田（ヤキタ）と呼ばれていました。元禄2年（1689）に芭蕉がこの地を通ったT9k8に、弟子の曾良の随行記に「やイタ」と記されています。今はリンゴの名産地になっている下長井に芭蕉句碑があり、死の文化財になっています。高原山が伊吹山のように秀麗なので「そのままに月もたのもじ伊吹山」と「笈の小文」に載っています。

幕末には佐倉藩十万石の所領でした。

坂巻家の一族は武田勝頼の遺臣と言われています。旗持ちだったと聞いています。武田家滅亡の後矢板後に逃れてきて定住したものと思われる。遺産分轄である田分を禁じて家産の蓄積を家憲として農業にひたすら励んできました。（以下次号へ）

## 西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園

西那須野幼稚園

園長・理事長 福本 光男

「へいわってすてきだね」

安里有生

へいわってなにかな。  
ぼくは、かんがえたよ。  
おともだちとなかよし。  
かぞくが、げんき。

えがおであそぶ。  
ねこがわらう。  
おなかがいっぱい。  
やぎがのんびりあるいてる。  
けんかしてもすぐなかなおり。  
ちょうめいそうがたくさんはえ、  
よなぐにうまが、ヒヒーンとなく。  
みななどには、フェリーがとまっていて、  
うみには、かめやかじきがおよいでる。  
やさしいところがにじになる。  
へいわっていいね。へいわってうれしいね。  
みんなのころから、  
へいわがうまれるんだね。  
せんそうは、おそろしい。  
「ドドーン、ドカーン」  
ばくだんがおちてくるこわいおと。  
おなかがすいて、くるしむこども。  
かぞくがしんでしまってなくひとたち。  
ああ、ぼくは、へいわなときにうまれてよかったよ。  
このへいわが、ずっとつづいてほしい。  
みんなのえがおが、ずっとつづいてほしい。  
へいわなかぞく、  
へいわながっこう、  
へいわなよなぐにじま、  
へいわなおきなわ、  
へいわなせかい、  
へいわってすてきだね。  
これからも、ずっとへいわがつづくように  
ぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。

ニュースではアフガニスタンやミャンマーの戦乱について報道されています。日本も敗戦後76年、8月6日、9日、15日前後には特集も組まれた報道があり、ご覧になった保護者の皆様も多いと思います。

先の大戦で沖縄県では、県民の4人に1人が亡くなりました。冒頭の詩は、安里有生(あさと ゆうき、当時小学校1年生)君が、沖縄県で行われた沖縄全戦没者追悼式(2013年6月23日)で朗読したもので、ブロンズ新社からは絵本として出版されています。

子ども達の立場から平和について考えると、この「へいわってすてきだね」の詩を思い起こします。保護者の皆さんはもちろんですが、私も戦争を知らない世代です。以前読んだ新聞記事に沖縄の善隣幼稚園の園長國吉牧師が、「戦争を知らない子ども達」から「戦争をしない子ども達」ということを述べていました。沖縄には、命どう宝(ぬちどうたから)

という言葉があります。沖縄語で「命こそ宝」という意味の言葉です。

幼稚園は子ども達に平和を教えるところです。旧約聖書にシャローム(shalom・平和)というヘブライ語の概念があります。「こんにちは」の挨拶にも使われている単語で、本園の児童発達支援センターの名前にもしています。シャロームが意味する平和とは、単に戦争のない平和な状態を表すだけでなく、現実には生きている人びとが幸福な状態を意味します。私たちができることは、僅かなことですが、子ども達の笑顔が消されないような、若者達が夢や希望を持てる社会、1人1人の命が大切にされる世界を私たち大人が叡智を出し合って作っていく責務があると考えます。また同時に、子ども達が、単に平和を愛する人ではなく、平和を作り出す人として成長されることを願います。

最後に「世界3～9月号」(岩波書店)の「県境の町」(吉田千亜)、「保育ナビ10月号」(フレーベル館)に本園の取り組みの一部が掲載されています。

(しらゆり 2021. 9. 3 加筆修正)

## アジア学院たより

学校法人 アジア学院

アジア農村指導者養成専門学校

校長 荒川 朋子

アジア学院は1982年に初めてミャンマーから学生を迎えました。それ以来ミャンマーからはほぼ毎年学生を受け入れ、これまで90名を数えます。そのうちの約半数はミャンマー・バプテスト連盟に属する地方教会の農村開発部門のスタッフで、この教会はまさに組織を上げて農村開発部門を担う人材育成をアジア学院に託してきたといえます。

ミャンマー・バプテスト連盟は135の民族を擁するミャンマー全土に18の下部教会組織を持ち、主に少数民族の住む地域にキリスト教を布教し、教育、医療、農業など幅広く人々の生活を支える活動を行ってきました。かつては民族間で不公平が生じないように18の下部組織から順番にアジア学院に応募がありましたが、2000年以降は地方の教会組織が独自に応募者を選定して、アジア学院に直接応募するようになりました。2003年には当時では珍しい、牧師たちによって組織されたNGOからの応募が始まりました。バプテスト教会以外の宗派からも応募も加わり、さらに卒業生たちがクリスチャンだけでなく仏教徒と協働する必要性を訴えてきたので、仏教系の団体からの応募者も来るようにな



りました。いつしかミャンマーから毎年多くの優れた応募者が殺到することになり、「1国3人まで」という学生数の上限を破らねばならないことも度々ありありました。

ミャンマーのYMCAで働く卒業生もいます。首都ネピドーにあるネピドーYMCAの主事を務めていたメルビン (Melvin) 牧師は私が初めてアジア学院で長期滞在した1994年度の学生のひとりでした。50歳を超える年長者でしたが、親しみやすく、誰よりも働き者で、笑顔が素敵で、私は父親のように慕っていました。ネピドーYMCAは旧イエジンYMCAとして1990年に発足、メルビン牧師が最初の主事として招かれました。イエジンは日本政府が関わる国家的ダム開発プロジェクトが行われた地域で、それに伴って農業系の大学ができ、最盛期には200名以上の学生が参加する活発なYMCAであったと聞いています。またメルビン牧師は医療サービスが不足する地域で、YMCAとしても医療サービスを提供すべきと考え、横浜YMCAの協力を得て1992年にイエジンYMCAに小さなクリニックを併設しました。助産婦の妻と、医師の兄も参加して医療サービスを地域に展開しました。また横浜YMCAのメンバーである廣瀬医師が率いるボランティアグループが毎年12月に現地に赴き、村々を巡回する医療サービスを廣瀬医師が亡くなる2005年まで13年間に亘って継続しました。メルビン牧師は現地コーディネーターとして尽力しました。2006年にメルビン牧師の次男がアジア学院に入学し、その後メルビン牧師を継いでネピドーYMCAの主事になりました。彼は幼稚園と農業プロジェクトも拡大させ、地域の医療、幼児教育、農業の貴重なサービス拠点してネピドーYMCAを支えています。父のメルビン牧師は引退後も元気でしたが、残念ながらこの8月6日に新型コロナウイルスのよって81歳の生涯を閉じました。妻のマリンさんが同じコロナで亡くなった3日後でした。

私はミャンマーはアジア学院の農村指導者育成の研修が最も活かされる地域のひとつであると思っています。ミャンマーの辺境の地で、人々の精神的、物質的、社会的ニーズを満たすために献身的に地道に働く牧師や草の根のリーダーたちの姿は、アジア学院の農村指導者のイメージそのものだからです。だからこそアジア学院のカリキュラムは、ミャンマーの学生のニーズに応えることができたと感じています。そのニーズはまだ高いはずです。コロナ禍とクーデターによる混乱が収束し、再びミャンマーからの学生を迎える日を心待ちにしています。

## YMCAだより

### 【とちぎYMCAサマープログラム中止のお知らせ】

7月中旬よりスタートしましたとちぎYMCAサマープログラム(野外・ウェルネス)でしたが新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、参加するお子様・ユースボランティア・職員及び全ての関係者の感染リスクを低減するためまた社会の一員として逼迫しつつある医療体制及び関係者への協力の意を表すため、代替プログラムの提案をしておりましたがそれらも含めて中止とさせて頂くこととなりました。

那須YMCAでも、大学生のユースボランティアリーダーが各プログラムに参加し、それぞれの役割の中で子どもたちと向き合い、共に楽しみながら学ぶ機会となるはずでしたが今回はそれを叶える事が出来ませんでした。

コロナ禍という状況においてもYMCAはCaring(やさしくする)、Honesty(しょうじきになる)、Respect(人を大切におもう)、Responsibility(できることは自分からする)という大切にしている4つの想いを忘れず、プログラムの様々な場面で、子どもたちとリーダーたちがそれらを感じ、その経験が子どもたちを成長させ、日々の生活で活かされることを願い、今後もリーダーと共にプログラムを展開していきます。

### 【新型コロナウイルス感染症対応について】

・YMCAプログラム(英会話、健康教育、野外教育)は9月12日以降の再開にむけて、プログラム準備を行っています。

・那須YMCAは、体育クラス、英語クラス、サタデークラブなど9月12日までの期間で講師派遣を中断させて頂きました。

### 【とちぎYMCA・那須YMCAの9月の予定】

・8/28(土) サタデークラブ@なかがわ水遊園・西那須野幼稚園(水遊び)中止

・9/4(土) サタデークラブ@西那須野幼稚園(科学実験)中止

・9/11(土) サタデークラブ@宮崎りんご園(りんご狩り)中止

・9/12(日) Yキッズ@烏山市(ハイキング) 9月26日へ延期

・9/11(土)~12(日) YVLF@オンライン(Zoomにより参加)※今回は5名のリーダーがとちぎYMCAより参加します。

・9/18(土) サタデークラブ@宮崎りんご園(りんご狩り) 予定

## ユースリーダーのつぶやき

1. 名前（リーダー名） 2. 学校名 3. 出身地 4. YMCAに入ったきっかけは？ 5. 思い出に残った活動とその理由は？ 6. 今後の進路は？ 7. YMCAに一言



- ① 荒泰樹 やっきー
- ② 国際医療福祉大学 医療福祉学部
- ③ 宮城県
- ④ ボランティアセンターで大学の先輩に進められたから
- ⑤ 昔遊び体験 視野を広く見ることの大切さを再確認したから
- ⑥ ソーシャルワーカー
- ⑦ 子どもたちと楽しく活動していきます！

## 編集後記

- ・草刈りをしていて、土バチ（スズメバチの一種）に襲われ、10か所以上を刺されました。顔を除く全身がかゆくなり、少し息が苦しくなり、菅間病院で診察を受け初めての入院を体験しました（2泊3日）。エピペンを携帯することになりました。
- ・皆様より原稿をいただきながら、完成にと間取り遅くなりました。申し訳ありません。
- ・今年度の会費（年額50,000円）の納入を会計までお願いします。